

書き入れ版『官話指南』に所収された南北官話について
A Study of *Guanhua Zhinan* Notes Version's Northern and Southern
Mandarin

孫 云偉
SUN Yunwei

内容提要: 本文以手寫註釋本『官話指南』為研究對象，參考北京話詞典、方言大辭典以及日下恒夫、太田辰夫、尾崎實等學者的相關研究，對『官話指南』註釋中的南北官話進行了全面整理。筆者從『官話指南』手寫註釋中整理出273對南北官話實例，發現其中大部分的兒化詞、北京土話、北京話詞典收錄的詞語等都添加了註釋，可見這些註釋都是有很強的南方話特徵的詞語。

キーワード: 『官話指南』、南北官話、対照表

目次

- 1 書き入れ版『官話指南』
- 2 書き入れ版『官話指南』における南北官話の対照表

参考資料

参考文献

辞典

1 書き入れ版『官話指南』

書き入れ版『官話指南』（以下、『指南』と略称する）は「序」、「凡例」、「目次」、「應對須知」、「官商吐屬」、「使令通話」、「官話問答」から構成され、全93頁ある¹。『指南』の扉の右側に「主降生一千九百年」、中央に「官話指南」、左側に「光緒二十六年、福州美華書局活板」、最後の頁に「明治辛丑六月於清國上海獲之 藤澤黄鵠」とある。書き入れは巻一、巻三の全ての章及び巻二第一章から第十四章までに見られる。本文には文全体を書き替えたという記載もある。また、カナで漢字の読み方を表記している箇所も稀に見られる。

¹ 初版『官話指南』は吳啓太、鄭永邦の共編により、1881年上海で出版され、日本人が初めて編纂した北京官話教科書である。一見すると書き入れ版『官話指南』と初版『官話指南』の内容配置は一致しているようである。

『指南』に関する研究は日下恒夫（1974）の研究のみである。日下恒夫（1974）は書き入れを行なった藤澤黄鵠の生涯を調査し、その書き入れは藤澤黄鵠が 1901 年南京滞在中に中国人である黄乾、李田両氏から「会話を学んだ際の記録」²であると論じた。そして、九江版『官話指南』（1893）、『官話類編』（1898）、太田辰夫が著した「北京語の文法特徴」および南方語に関する辞書を参考にし、『指南』から南北官話を取り出し、その方言差について分析した。しかし、本文では全ての南北官話が紹介されたわけではない。そのために、本稿は日下恒夫（1974）の研究を踏まえて、北京語辞典、方言辞典、太田辰夫（1965）「北京語の文法特徴」および尾崎實（2003、遺稿）『官話類編』所収方言詞対照表などを参考にし、『指南』に対する南北官話の全面的な採集を行う。

2 書き入れ版『官話指南』における南北官話の対照表

以下に掲載する対照表について紹介する。

（1）この対照表は『指南』で記載された南北官話を採集し、原文の語彙を基にアルファベット順に配列したものである。右側から順に『指南』の原文、書き入れたもの、その語彙が掲載されている頁数となる³。二度以上にわたり記録されたものは、紙幅の関係上、一箇所のみ提示している。

（2）本稿の北京官話は北京語辞典などに収録された語彙であり、南方官話は方言詞典に収録されたものと、書面語として理解されるものである。

（3）多くの南方表現は方言詞典に収録されていないので、書き入れたものは南方官話であるか判断しにくい。そのために、本稿では同じく双行注を施した九江版『官話指南』（九江書會、1893）と『官話類編』（C.W.Mateer、1898）を参考にする。そして、『指南』の原文は北京官話とし、追記した部分は前二項の教科書の中に収録されている場合は、南北官話と認めることにする⁴。

（4）尾崎實（2003）の研究では南方語の部分を江南語作品の《上海的早晨》（周而復著）《上海十年文学选集》（周而復著）、矛盾の作品、山東語の《苦菜花》（冯德英著）を参考にしたので、『指南』の南北官話は尾崎實（2003）に出た語彙と同様であれば、対照表に収録してもよいと思われる。また、張美蘭・李穎（2007）、張美蘭（2008）、齊燠（2016）共に九江版『官話指南』にある南北官話について研究したので、本稿はこれらの研究も参考にする。

（5）日下恒夫（1974）は『指南』の“～兒”が削除されたり、或いは“～子”と書き替えられたりしているケース状況が大変多く、“～兒”は北京語の特徴が強い表現とし、ま

² 日下恒夫 1974、41 頁。

³ この配列方法は尾崎實（2003、遺稿）『官話類編』所収方言詞対照表を参考にした。

⁴ 九江版『官話指南』（九江書會、1893）、『官話類編』（C.W.Mateer、1898）、書き入れ版『官話指南』三書共に原文をもとに、注を施した。前二項は右に『官話指南』の原文、左に著者が追記した表現を配置している。

た極端に避けていることから、「南では“～子”を用いる傾向がある」⁵と述べた。したがって、本稿では“～兒”から“～子”に書き替えられたものをすべて収録した。

(6) この対照表は全 273 対の南北官話を整理した。これらの南北官話を見ると、『指南』では北京語辞典や、“兒化詞”、北京土話などの北京語の特徴が強い語彙に書き替えられた部分に関してかなり多いことがわかった。要するに、書き入れられた部分は南方語の特徴が強いと言えよう。

A		D	
按着 - 照着	57	搭幫 - 搭伴	15
挨一挨兒 - 等等	72	搭伴兒 - 搭伴	9
B		搭 - 叫	65
白 - 隨便	18	打 - 從	71
白牆兒 - 白牆	57	打前失 - 打踢絆	68
白天 - 天裏	10	大夫 - 醫生, 先生	8, 61
板凳兒 - 板凳	60	耽悞兒 - 耽擱	59
榜樣兒 - 榜樣	11	～得了 - ～好了	58
雹子 - 冰雹	24	得 - 要	67
北邊兒 - 北邊	13	燈罩兒 - 燈罩	66
背陰兒 - 背陰的	63	底半截兒 - 底半截	19
別 - 莫	62	地方兒 - 地方	62
不啞了 - 不早了	20	地名兒 - 地名	17, 17
C		丟 - 失, 掉	62
擦 - 抹	57	東嘎拉兒 - 東邊	64
擦臉手巾 - 洗臉手巾	57	對面兒 - 對面	22
茶船兒 - 茶船	57	對勁 - 相好	14
茶机兒 - 茶几	57	短 - 少	66
茶盤兒 - 茶盤	57	墩布 - 抹布	21, 24
車沿兒 - 車沿	60	多嚙(咱) - 那天, 那時	69
抻 ⁶ - 拉	59	多宗晚兒 - 甚麼時候	71
抽冷子 - 偷冷	12	多兒(錢) - 多少	8
從先 - 先前	25		

⁵ 日下恒夫 1974、24 頁。

⁶ “抻”本字は手偏に“親”。

E		H	
哦噠半片 - 邈裡邈邇	58	孩子 - 娃娃	11
F		汗褌兒 - 汗衫	59
飯莊子 - 酒席館	64	耗子 - 老鼠	12
房 - 房子	13	好好兒 - 好好的	8
封兒 - 封子	70	喝 - 喫	9
富宅 - 富家	24	和 - 同	71
復原兒 - 復原	8	黑下 - 黑夜	24
G		後兒 - 後天	21
蓋兒 - 蓋子	63	胡同 - 巷	13
趕 - 等	14	花兒 - 花	70
敢情 - 當真, 原來	25, 62	J	
幹 - 作, 做	17, 25	雞子兒 - 雞蛋	58
各樣兒 - 各樣	61	幾分兒 - 幾分	14
各人 - 自己	17	幾樣兒 - 幾樣	18
隔扇 - 隔子	9	忌 - 戒	25
給 - 替	16	家兒 - 家	58
跟 - 同	60	價兒 - 價錢	71
給 - 使	9	見天 - 每天	25
給 - 把	12	賤 - 便宜	71
工夫兒 - 時候, 工夫	17, 65	腳下 - 目下, 刻下, 此刻	14, 25, 25
瓜子兒 - 瓜子	12	叫 - 被	8
拐 (彎兒) - 轉 (彎兒)	10	叫門 - 敲門	57
官帽兒 - 大帽子	60	解 - 從	62
官座兒 - 官座	64	今兒 - 今天, 今日	7, 20
(錫鐵) 罐兒 - (錫鐵) 罐子	57	今兒個 - 今天	11
逛 - 頑	10	筋筋兒 - 老了	58
歸着 - 收拾	66	勁兒 - 勁	12
棍兒 - 棍子	63	竟 - 只, 專	11, 15
		就得了 - 就好了	8
		就得了 - 就是了	18
		覺着 - 覺得	8

K		M	
坎肩兒 - 背心子	59	馬尾兒 - 馬尾	12
炕 - 床	10	茅房 - 茅廁	62
可 - 卻	61	毛稍兒 - 毛稍子	63
可是 - 卻是	14	沒 - 沒有	9
(有)空兒 - 空	8	煤球兒 - 煤球子	58
扣兒 - 扣子	69	迷迷糊糊 - 糊裏糊塗	57
苦力 - 挑夫, 打襍	62, 67	(火)滅 - 熄	57
褲腳兒 - 褲腳	59	明兒 - 明天	12
L		明兒個 - 明天	12
蠟燈 - 燭台	18	磨稜子 - 耽擱工夫	70
來着 - 來的	17	N	
藍白線兒 - 藍白線	59	哪兒 - 哪裏	7
老 - 總	58	那兒 - 那裡	8
了 - 哩	16	那兒的話 - 那裏的話	12
了 - 呢 (正在進行)	18	那頭兒 - 那頭	60
了 - 的 (已然狀態)	18	那麼 - 那樣	11
梨 - 梨子	71	那邊兒 - 那邊	12
(有幾)裏地 - (有幾)裏路	23	腦袋 - 頭	60
俐羅 - 清清楚楚		娘兒們 - 女人家	61
倆 - 兩人	67	您納 - 閣下, 你, 您, 您老人	7, 9, 14, 14
兩樣兒 - 兩樣	9	家	
零兒 - 零頭	57	您 - 你	12
零碎兒 - 零碎的	65	年紀 - 年歲	20
溜達 - 遊玩	69	年頭兒 - 年頭	20
	21	挪 - 搬	62
		P	
		嘮 - 講	8
		傍邊兒 - 傍邊	64
		傍帳兒 - 傍帳子	60
		棚 - 棚子	66
		皮箱兒 - 皮箱	69
		鋪子 - 店	65
		鋪蓋 - 被單	57

Q		耍 - 做	25
沏茶 - 泡茶	57	涮 - 洗	57
起 - 從	14	誰 - 那個（“那”上聲）	13
起身 - 動身	15	誰家的 - 那家的	12
前些年 - 前幾年	23	水聲兒 - 水聲	10
錢數兒 - 錢數	65	四季兒 - 四季	10
腔調兒 - 腔調	9	俗語兒 - 俗語	12
牆兒 - 牆	57	歲數兒 - 歲數	12
瞧門脈 - 看診	15	鍊子 - 鍊子	25
俏貨 - 貴貨	19	T	
輕省 - 輕鬆	8	踏板兒 - 隔板	61
頃 - 畝	18	（擺）臺 - （擺）桌子	58
取 - 兌	17	痰盒兒 - 痰盒	57
R		桃 - 桃子	71
讓 - 請	16	體面 - 好看	59
S		頭 - 匹	62
撒謊 - 扯謊	8	頭年 - 去年	16
撒俐 - 乾淨	70	W	
嗓子 - 喉嚨	9	外邊兒 - 外邊	8
晌午 - 中午	63	外面兒 - 外面	12
上臄 - 長臄	68	（轉過）灣兒 - （轉過）灣	10
折 - 斷	25	晚 - 遲	16
聲兒 - 聲音	9	忘 - 忘記	64
繩兒 - 繩	65	屋裏 - 房裏，家裡	57, 63
師傅 - 先生	10	屋子 - 房子，房裏	62, 67
實誠 - 誠實	8	無賴子 - 無依的人	17
拾掇 - 收拾	68	X	
使不得 - 用不得	67	閒房子 - 空房子	57
使得 - 可以，作得	61, 69	現在 - 此刻	25
使喚 - 使用，用	56, 65	現時 - 此刻	23
手縫兒 - 手縫	12	先頭裏 - 從前	18
首尾兒 - 首尾	72	涎皮賴臉 - 厚着臉皮	12
舒坦 - 舒服	19	怎麼着好呢 - 怎樣好呢	13
刷牙子 - 牙刷子	57	向陽兒 - 向陽，太陽	57, 63

(涼快)些兒 - (涼快)些	10	Z	
些個 - 些	62	俺們(咱們) - 我們	9
新手兒 - 新來的人	72	棗兒 - 棗子, 棗	71, 71
性兒 - 性子	11	怎麼 - 怎樣	17
杏兒 - 杏子	71	總得 - 總要	8
學房 - 學堂	10	喳 - 是	57
Y		宅門兒 - 宅門裏	60
牙籤兒 - 剔牙杖	59	宅裏 - 家裏	24
煙卷兒 - 煙卷子	61	掌櫃的 - 老板, 夥計, 先生	24, 17, 19
煙盤兒 - 煙盤	60	招 - 加	59
邀 - 稱	71	着點兒涼 - 受了涼	8
要準兒 - 定準	8	照舊 - 原樣, 照樣	63, 64
(水)漾 - (水)漫	68	照樣兒 - 照樣, 照樣子	18, 65
掖 - 放, 蓋	60, 63	照 - 看	19
胰子盒兒 - 胰子盒	57	這兒 - 這裏	8
一點兒 - 一點子	8	這麼着 - 這麼樣	8
一會兒 - 一會	10	這麼 - 這樣	12
一半兒 - 一半	7	這程子 - 這日子	20
一塊兒 - 一塊	57	這麼着罷 - 這個樣罷	67
銀票 - 銀票子	17	這陣兒 - 這會	60
銀盤兒 - 銀價	65	整天家 - 整天的	11
銀數兒 - 銀數	19	整工夫 - 整天	25
營生 - 事情	11	知道 - 曉得	17
有點兒 - 有點	9	職名 - 名片	70
原先 - 從前	19	重落了 - 受了風	8
約莫 - 估猜	19	磚麵子 - 瓦灰	68
月頭兒 - 月頭上	62	字兒 - 字	57
勻溜 - 勻勻	60	自各兒 - 自己	57
云山霧罩 - 云里霧里	8	昨兒 - 昨天	10
		昨兒個 - 昨天	16
		做 - 弄	64
		作活 - 作事	12

参考資料

- 九江書會（1893）『官話指南』 九江印書局
C.W.Mateer（1898）『官話類編』 American Presbyterian Mission Press

参考文献

- 太田辰夫 1965「北京語の文法特点」『中国研究：經濟・文学・語学 久重福三郎先生坂本一郎先生 還曆記念』久重福三郎先生坂本一郎先生還曆記念行事準備委員会
日下恒夫 1974「清代南京官話方言の一斑—泊園文庫藏《官話指南》の書き入れ—」
『関西大学中国文学会紀要』5号
周一民 1998《北京口语语法·词法卷》语文出版社
尾崎實 2003『『官話類編』所収方言詞对照表』『或問』第6号（遺稿）
张美兰、李颖 2007〈清末汉语介词在南北方言中的区别特征—以九江书局改写版《官话指南》为例〉《继往开来的语言学发展之路》 语文出版社
张美兰 2008〈十九世纪末汉语官话词汇的南北特征—以九江书局版《官话指南》为例〉《韩汉语语言研究》韩国:学古房出版社
張美蘭 2009〈清末北京官話的句法特點—以幾部域外北京官話資料為例〉《人文中國學報》第十五期 香港浸會大學《人文中國學報》編輯委員會編
齐灿 2016〈19世纪末南北京官话介词比较研究—以《官话指南》《官话类编》注释为例〉『東アジア文化交渉研究』関西大学文化交渉学教育研究拠点
卢小群 2017《老北京土话语法研究》中国社会科学出版社

辞典

- 金受申 1964《北京话语汇》 商务印书馆
宋孝才、马欣华 1982《北京话词语例释》 铃木出版
陈刚 1985《北京方言词典》 商务印书馆
贾采珠 1990《北京话儿化词典》 语文出版社
徐世荣 1990《北京土语辞典》 北京出版社
常锡楨 1992《北京土话》 文津出版社
北京大学中国语言文学系教研室 1995《汉语方言词汇》语文出版社
陈刚、宋孝才、張秀珍 1997《现代北京口语词典》 语文出版社
许宝华、宮田一郎主編 1999《汉语方言大词典》北京：中华书局
齐如山 2008《北京土话》 辽宁教育出版社
傅民、高艾军 2013《北京话词典》中华书局
刘延武 2015《老北京方言俗语趣味词典》群众出版社